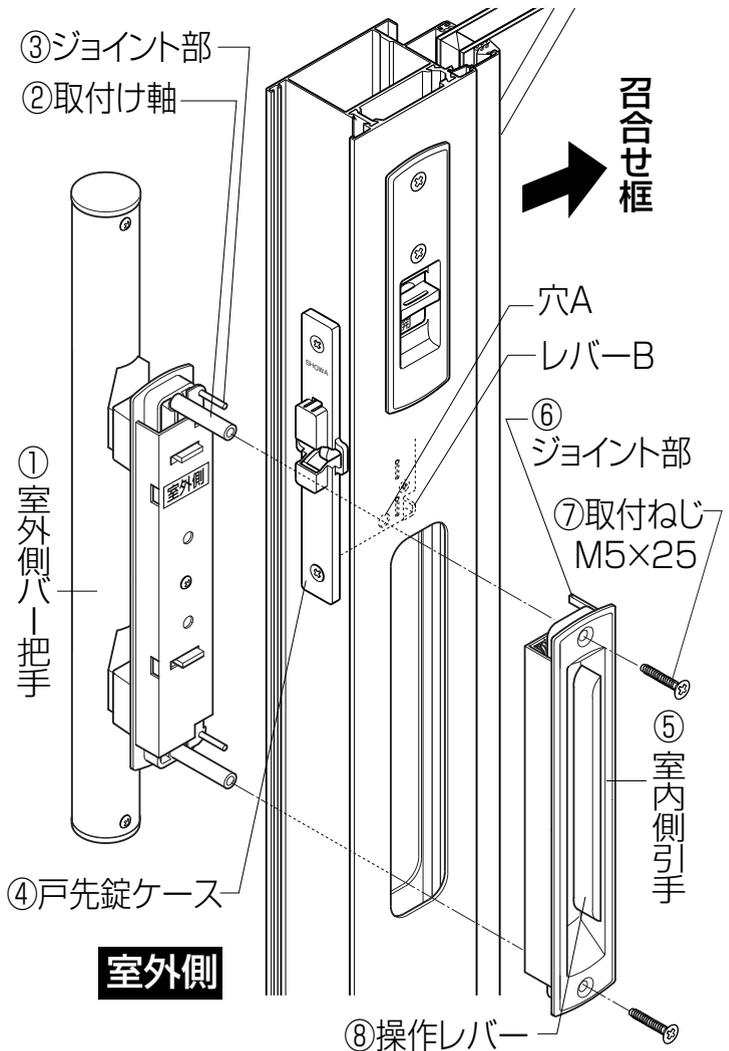


※本説明書は施工後、お施主様にお渡しください。

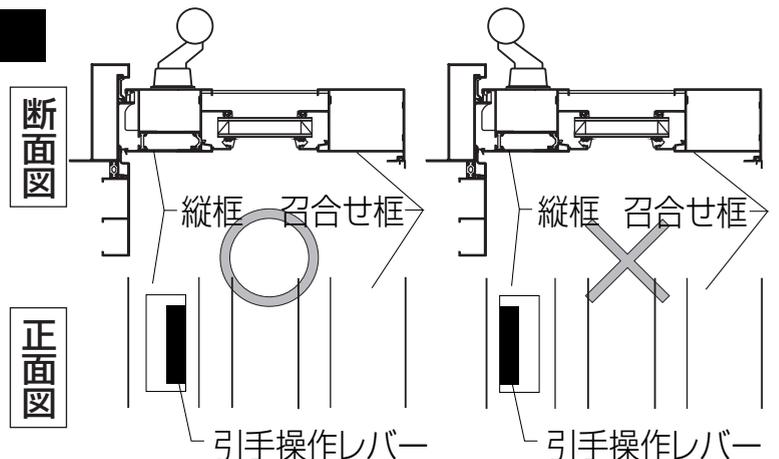
■取付け手順

- 戸先錠ケースを先に取付けてください。
※本図は室外側バー把手、内側引手のラッチ付きの図で説明していますが、
外:引手+内:引手
外:把手+内:把手 のパターンも取付け方法は同じです。
- ① 室外側把手を室外側から切欠きに差し込みます。
その時、②取付け軸を④戸先錠ケースの穴(A)に差し込み③ジョイント部がレバーBの上の様に取付けます。
- ② 室内側引手も同様に⑥ジョイント部がレバーBにのる様に切欠きに合わせ差し込み⑦取付けねじで固定します。
- ラッチなしの場合は、ジョイント部およびレバーBはありません。
- 引手・把手を解除操作したまま取り付けると、ジョイント部がレバーBにのらず、ラッチ解除ができなくなります。



■把手・引手の取付け方向

- 把手は必ずグリップ部が召合せ框側に寄る様に取り付けてください
 - 引手は、ラッチ付きの場合、操作レバーが召合せ框側にくる様に取り付けてください(ラッチなしの引手は、左右の区別はありません)
- ※逆に取付けると手をはさんだり、ラッチ解除操作ができなくなります。



■操作方法(ラッチ付きの場合)

- 可動把手の操作はグリップ部を障子を開ける方向に平行に動かすとラッチが解除します。
 - 可動引手の操作は⑧操作レバーを障子を開ける方向に平行に動かすとラッチが解除します。
- ※4枚建ての合掌部は、戸先部と同一品で取付け方法も同じです。
※4枚建て内観右側の合掌部にも可動引手・可動把手が付きますが、ラッチ解除は内観左側の合掌部の引手・把手でしかできません。
※把手仕様の場合、内障子の縦框には引手を取り付ける仕様となります。